軍艦淺間
出征記念

軍艦淺間出征記念

序

鵬程正に三萬浬、赤道を過ぐること前後四回、航路東西兩半球に亘り、夕陽朝曦を波間に送迎すること十有四ヶ月、萬難を排して然も一大奇禍に遭遇せる吾が淺間は、乘員一同の至誠と、熱烈なる努力とにより、復舊作業功を奏して、再び其の英姿を故國の埠頭に現すを得たり。　悲喜を艦に等うして、天涯萬浬の旅程を經たる者、豈に萬感の胸臆に來往することなからんや。

顧れば大正三年九月中旬、吾が淺間は、征獨の大命を拜して征途に上りぬ。　時正に擧國敵愾の氣に充ち、乘員の昂然たる意氣、既に敵を併呑するの慨あり。　初め南洋に航して敵の屬土に迫るや、獨領諸島風を望んで皇化に靡き、椰子林の梢頭高く、日章旗の翩翻たるを見るに至りて、吾が任務の一は遂げられたり。　再び電命に接して急駛布哇に向ふや、太平洋上の敵艦、未だ戰はずして或は太西洋に走り、或は其の武裝を解きて我に屈し、水天淼漫の洋上亦一の敵影なく、龍鬪虎搏の機を逸して、將卒徒らに髀肉の歎を洩らすに過ぎざりき。　次いで凱歌を奏して北上の途次、時正に大正四年一月晦、解纜以來優勢健闘したりし吾が淺間は、運命の嫉視にや遇ひけん、墨國南岸サンバルトロメに於いて、未測の暗礁に觸れ、其の艦底を傷けられぬ。　地は之れ故山を距ること六千浬、荒寥無人の海濱。　吾が淺間は遂に駛走の自由を奪はれて、巨體空しく靜座するの止むなきに至れり。　嗚呼何たる悲愴事ぞや、夕陽西に沒して墨國の暮色愴然たるの時、悲風更に斷腸、萬感交ゝ至り、切に淺間の偉勳を追憶するのみ。　嘗ては金剛峯下の哨戒に、徹宵、曉の白むを覺らず、或は日英艦隊の索敵行動、或は又、南米の岬頭、北米の山容、過ぎ來れる處、顧れば一として無限の感慨を誘はざるはなし。　是に於てか、健兒六百、波濤と闘ひ、排水防水の作業に、日夜奮勵努力、苦心慘憺、艱苦を積む八閲月。今や世界の記錄を破りて、曠古の難事を遂行し、再び淺間の雄姿

は、太平洋を横斷して母國の慈雨に潤ひ、懷かしき山川草木に接しぬ。征獨一年の一浮一沈、悲喜交ゝ臻る。豈に是れ海軍男兒の痛快事ならずとせんや。經來れる所、これを記臆の逸脫するまゝに委するに忍びず。玆に記念寫眞帖を編して乗員に頒ち、以て他日の追想に資せんとするの旨意、蓋し此に存すと云爾。

大正四年十二月

淺間記念帖編纂委員

軍艦淺間乘員名簿

職	官	氏名
艦長	海軍大佐	吉岡範策
副長	同中佐	南郷次郎
航海長	同少佐	米村末喜
水雷長兼分隊長	同	園田義治
砲術長	同	秋山榮
分隊長	同	高木平次
同	同大尉	早瀬佐十郎
同	同	黒羽根秀雄
同	同	青木宗作
同	同	野田清
同	同	小澤松三
同	同	宮田義一
乘組	同中尉	草鹿任一
同	同	藤森清一朗
同	同	澤田嘉瑞穗
同	同	松岡龍雄
同	同	堀内茂禮
同	同	市來政章
同	同少尉	高橋一松
同	同	鈴木虎男
機關長	同機關中佐	小畠錦一郎
分隊長	同機關大尉	林余次郎
同	同	佐々俊吉
同	同	小山孝路
乘組	同機關中尉	中村勉
同	同	藤崎凞
同	同	加藤猛
軍醫長	同軍醫中監	福田了
乘組	同大軍醫	向山美弘
主計長	同主計中監	近藤他家雄
乘組	同少主計	森俊一
掌砲長	同兵曹長	吉川岩吉
掌水雷長	同上等兵曹	赤澤貞
掌帆長	同	岡山龜次郎
乘組	同	岡本千松
同	同	芝貞行
同	同	中山文吉
同	同	中村勘次郎
同	同	大久保宗作
同	同船匠師	俣野卷熊

乘組 海軍機關兵曹長 池田武信
同 同 松本謙治
同 同上等機關兵曹 富田千太郎
同 同 長岡辰三郎
同 同 橫田亮爾
同 同上等筆記 島尾平七

海軍一等兵曹 中西虎之進
同 宮本喜七
同 小坂末之丞
同 新田善作
同 河內久米八
同 柏木確一
同 府錄伊太郎
同 河村鹿吉
同 松田音松
同 小野勇次郎
同 磯村德
同 中島達彌太
同 東守太郎
同 井上德藏
同 岩田眞七
同 宇根山數一
同 萱原伊三太
同 此上次右衞門
同 上田千介
海軍二等兵曹 齊田良吉
同 門田省三
同 中野助治
同 上田隆治
同 八木礒次郎
同 渡邊勘左衞門
同 藤永仁三郎
同 奧本吉五郎
同 河本壽藏
同 荒木多市
同 彼末友吉
同 山中鐵一
同 山田筆一
同 河內多三郎
同 中野新之助
同 生島幾太郎
海軍三等兵曹 今井光雄

海軍三等兵曹 梶原熊吉
同 中原實太郎
同 中津留生
同 藤井正光
同 岡本伊三郎
同 岩門杢二
同 中村喜作
同 盛實產藏
同 柴田豐次郎
同 好川馬吉
同 橋本正一
同 土江元市
同 山村九八郎
同 長和美人
同 橫林健三
同 宮村秋平
同 若狹東策
同 大下嘉四郎
同 香川正吉
同 正田茂八
同 稻井憲太郎
同 前谷吉夫
同 兒玉開次
同 久延幸治
同 金森嘉平
同 楠本直吉
海軍一等船匠手 高橋良助
同 港虎治郎
海軍二等船匠手 田中惣一
海軍一等機關兵曹 稻葉茂一郎
同 村岡秀一
同 小島恕一
同 山內瀧四郎
同 柳英男
同 中道榮藏
同 岡村喜一郎

海軍一等機關兵曹 赤木義一
同 麻植種次郎
同 石原豐太郎
同 關谷和太郎
同 鳥居直楠
同 岩田德二郎
同 藤原濱市
同 上田種太郎
海軍二等機關兵曹 服部閑二
同 宮崎義重
同 藤原和一
同 片山實三
同 高田嘉四郎
同 立石全三
同 渡邊誠一
同 中谷竹次
同 田中八十松
同 山脇開作
海軍三等機關兵曹 板野廣一
同 澄川岩助
同 加門松太郎
同 林田順治
同 松尾伊勢松
同 田代新太郎
同 五ノ谷政吉
同 倉健藏
同 三浦又平
同 小川榮吉
同 中山政一郎
海軍二等看護手 小林儀三郎
海軍三等看護手 大橋牛太郎
同 廣田筐一
海軍二等筆記 西家慶治郎
同 佐々原三太郎
海軍一等厨宰 法用楢治郎
海軍二等厨宰 平井島一
同 藏屋丑三
海軍三等厨宰 松井平一郎
海軍一等水兵 悦過竹次郎
同 向井義雄
同 好村秀鐵
同 倉谷善右衛門
同 小野原美龜二郎

海軍一等水兵 吉本清治
同 渡邊增平
同 中島彌七
同 大友箴一
同 二神種則
同 宗重常一
同 橋訓平
同 林松太
同 篠田葉盤
同 吉ノ谷芳松
同 和田邦一
同 中村彌一
同 久保甚太郎
同 杉山織藏
同 吉村清治
同 重松近一
同 戶梶辰治
同 廣政宗磨
同 佐々木登
同 山下宗一
同 沼田今穗
同 白川國繁
同 清水滋
同 岩井萬龜治
同 田中茂清
同 山崎和助
同 原野半七
同 土居勇
同 野崎季吉
同 小笠原冬次
同 三好元一
同 渡邊宇市
同 松井次太郎
同 內垣辨太郎
同 福高俊一
同 吉田長三郎
同 仙波常市
同 林幸作
同 天滿敬三
同 原田三郎
同 宮地金藏
同 石丸初治
同 佐藤萬作

海軍一等水兵 大本嘉四郎
同 鎌田龜太郎
同 黒崎爲太郎
同 宗藤隆一
同 中内鶴治
同 山中勝太郎
同 杉上文雄
同 石田新藏
同 岡田新太郎
同 川上肇
同 木村圓七
同 宮尾一馬
同 兼國九市
同 守中宗一
同 阿曾沼藤三
同 住田貝市
同 松岡久治
同 松岡四郎吉
同 中里八兵衛
同 樫本正三郎
同 高村光次
同 中野義夫
同 中山金太郎
同 井手之上亮一
同 吉永芳恵
同 森岡元一
同 原田幾槌
同 上折達一
同 渡邊基範
同 秋山末次
同 秋山類造
同 前北留治郎
同 小池繁春
同 棚田庄五郎
同 河本清
同 大木幾人
同 管林利介
同 沖中壽助
同 中島津二
同 高丸幸助
同 長網鐵之助
海軍二等水兵 南條敏一
同 藤村茂市

海軍二等水兵 吉良梅太郎
同 松木賢次郎
同 中尾敏雄
同 加能盛門
同 津田正滿
同 辰已秀一
同 朝田俊治
同 村上幾太
同 松尾新太郎
同 白井松次郎
同 田中岩樹
同 浦川小一郎
同 久保田岩助
同 吉富鶴治
同 山下常助
同 河南榮治郎
同 林虎壽
同 笹倉新太郎
同 古林新吉
同 忽那信一
同 山本伊作
同 橋本壽松
同 武政道成
同 土井千代吉
同 塚本壽義
同 向山繁爾
同 性全一二
同 細國鷹輔
同 齋藤克已
同 坂三藏
同 鈴木清太郎
同 柳岩吉
同 古澤淳
同 矢野常吉
同 鞍馬清吉
同 植田常太郎
同 藤川源次郎
同 今井末吉
同 山中德松
同 塚原豐作
同 伊藤助三郎
同 馬詰政之
同 有吉瀧三

階級	氏名
海軍二等水兵	横山安二
同	竹島宮太郎
同	木田安市
同	武地福助
同	十龜元次
同	中本讓一
同	別宮伴次
同	原田伴美
同	弘中武八
同	寺崎辰雄
同	藤森辰造
同	細川朝一
同	小川好助
同	武知秀勝
同	松本仲吉郎
同	田中松楠
同	岡崎九一
同	大西善松
同	前原正熊
同	澤井爲吉
同	坂本久吉
海軍三等水兵	尾中輝一
同	佐々木裕鷹
同	辻本正義
同	末富幸治
同	竹大定夫
同	門田磯吉
同	山部歳雄
同	寺本豐
同	高谷繁次
同	橋本一見
同	瀧口釟郎
同	味村音次郎
同	植中嘉一
同	前倉孝男
同	葛目清吉
同	東直吉
同	宮崎卯三郎
同	奥本福定
同	池本米吉
同	藤本嘉一
同	土肥榮
同	岡林一

階級	氏名
海軍三等水兵	山科伊三郎
同	榎木竹千代
同	小原佐吉郎
同	芝勘吉
同	小田福藏
同	酒井佐與吉
同	中澤策雄
同	穴吹熊太
同	三好豐
同	西川逸男
同	的場寛治郎
同	筧竹正義
同	藤尾源之助
同	富森末太郎
同	中村英郎
同	岡留一
同	竹內禾藏
同	加藤勘一
同	富谷熊夫
同	松村直治
同	古川二郎
同	吉光競
同	片岡好重
同	花山政吉
同	澤爲雄
同	藤川彌七
同	叶丸輝磨
同	山根嘉彌一
同	萩原龜藏
同	寺田長太郎
同	津田鹿一
同	松本藏次郎
同	福田勝吉
同	高松新太郎
同	河本清春
同	鎌垣繁雄
海軍一等木工	山本八太郎
同	稻塚孝太郎
同	飛松倉島
同	桑島茂太郎
海軍二等木工	森野里一
同	池田石次郎
海軍一等機關兵	向井春次郎

海軍一等機關兵　島田猛
同　菅尾鹿次
同　松森與次郎
同　高木正祐
同　岡田佐四郎
同　重村唯二
同　中田嘉藏
同　中川譽一
同　穴山喜八
同　谷義太郎
同　二神善四郎
同　三野伊三郎
同　福原佐市
同　內林千代藏
同　高垣節一
同　三宅三九郎
同　堀江文右衛門
同　柴田勇三
同　氏永梅之進
同　坂東龜三郎
同　相馬時正
同　飛驒九市
同　角田恒二
同　奥卯三郎
同　吉森五良一
同　佐光彌太郎
同　矢野盛恕
同　澁谷宗一
同　多羅治平
同　筒井瀨次郎
同　作本松太郎
同　濱田只一
同　增田彥太郎
同　山本藤衛
同　宇山時次
同　出島豐市
同　櫻井秀太郎
同　木谷完
同　田淵芳輔
同　山口米次郎
同　田中明光
同　井上彌一郎
同　大森喜代治郎

海軍一等機關兵　東眞作
同　最田修藏
同　中繁久吉
同　三宅雄一
同　近藤喜三郎
同　後東松次郎
同　福田綱次
同　津田茂夫
同　上田平吉
同　住友工
同　岡本四郎
同　澤田豐一
同　前田昌成
同　築家喬平
同　高橋要次
同　山本晉松
同　高岡卯之助
同　久保田茂十
同　寺口勝太郎
同　松本清作
同　宅間淺一
同　佐々木眞一
同　原谷金治
同　要萬二
同　茅ヶ迫常太郎
同　高木有一
同　加納新一
同　荻山武一
同　加藤房惠
同　小浦豐太郎
同　平橋伊太郎
同　萬德三郎
同　相澤龜
同　小林百太郎
同　永尾祥一
同　西幸太郎
同　河野梅吉
同　櫻木彌太郎
同　後藤末松
同　前田良彥
海軍二等機關兵　須川菊之助
同　新谷勝
同　寒川次郎

海軍二等機關兵　森谷直行
同　山本三郎
同　村田恒一
同　近藤秀吉
同　松井喜平太
同　平田語一
同　竹安達治
同　山本彌三八
同　松原正一
同　有富萬保
同　木田定一
同　伊藤辰三
同　船先壽雄
同　石田勝三郎
同　中林卯之吉
同　池田賛一
同　平田儀一
同　栗原長次郎
同　猪原博明
同　秋田末廣
同　濱口甚藏
同　井上憲次
同　猪川芳雄
同　足立進治
同　伊豫谷惣市
同　大島光太郎
同　桃井金作
同　松尾大藏
同　藤澤時造
同　岡本勝次郎
同　笠井素一
同　田村耕作
同　根來勝次郎
同　河添熊猪
同　宇都宮善實
同　濱中萬吉
同　船田勇
同　鳥越一夫
海軍三等機關兵　菊池森美
同　安尾直市
同　高原好造
同　島崎滌
同　野津菊次

海軍三等機關兵　大久保宇太郎
同　江川貞治
同　依田米雄
同　江端政治
同　松下好
同　三好啓助
同　土屋正衞
同　斧山春美
同　戸板正雄
同　岡本定吉
同　坂口二一
同　森憲太郎
同　岡崎秀信
同　岡本伊太郎
同　前田廣美
同　上甲資
同　矢追彥五郎
同　久保一好
同　水口光次
同　增原盛二
同　信原悅三郎
同　岩崎爲次郎
同　長阪廣次郎
同　葉田柳吉
同　高瀨健一
同　岸部常松
同　玉岡留吉
同　酒井清作
同　西所芳一
同　小泉篤一
同　犬石里治郎
同　永田清光
同　坂木直行
同　山根省助
同　山本延三郎
同　村岡文三郎
同　横川三代吉
同　羽山末太郎
同　島崎幾松
同　福田周三郎
海軍一等看護　早川平一
海軍一等主厨　松村直
同　井上俊三

海軍一等主厨　西本清次
同　金木俊藏
同　岩本三成
同　梅本留一
同　竹森正美
同　野村勇
海軍二等主厨　倉田輝三
同　小橋清三郎
同　福井小三郎
同　竹田富藏
同　饗庭正吉
海軍三等主厨　山村長助
同　粂重倉一

海軍三等主厨　宮井龜太郎
海軍四等主厨　辰井朝治郎
從僕　村上貞太郎
給仕　白井才一郎
同　湯免德市
同　山越松吉
同　吉田彌太郎
剃夫　浦鄕末雄
同　前川歳太郎
同　小林絹造
同　平川悅次
割烹　芳賀正秀
洗濯夫　東庄太郎

出征後退艦者

海軍少佐　津留雄三　四年一月十七日
同少尉　桑島新　同
海軍少軍醫　堀田愼之　同
同中尉　霜上正太郎　同七月二十七日
同少主計　片岡覺太郎　三年十二月六日
同少尉　澤田虎夫　同十二月一日
同　同　古宇田武郎　同
同　同　藤井音四郎　同
同機關少尉　平井龍吉　同
同　同　岸兵二　四年三月二十九日
海軍上等機關兵曹　立野唯助　三年十月十七日
同上等兵曹　大崎市二　四年三月二十九日
海軍看護師　瀨尾邦孝　同

海軍一等水兵　久保田護　三年十月二十五日
海軍三等水兵　平野一平　同十一月二十六日
海軍一等機關兵　藤山彌一　同
海軍二等機關兵曹　大江惣一　四年一月十八日
海軍二等兵曹　守屋熊一　同一月二十日
海軍三等兵曹　船谷實之助　同
同　德富與作　同
同　叶本千槌　同
海軍二等機關兵曹　近澤春次　同
海軍三等厨宰　松本丑松　同
海軍一等水兵　岡田甚郎　同

海軍一等水兵　重川理吉　四年一月二十日
同　大崎元之助　同
同　田中石之丞　同
同　藤塚末吉　同
同　內海霞　同
同　柳井義助　同
同　末田武一　同
海軍二等水兵　川口音四郎　同
同　上野辰一　同
同　杉田嘉市　同
同　北野友吉　同

官等	氏名	日付
海軍二等水兵	松岡佐七	四年一月二十日
同	金川森藏	同
同	檜崎增藏	同
同	津田常八	同
海軍三等水兵	川上福市	同
同	大谷熊男	同
同	田宮市松	同
同	重村晉一	同
同	坂口又一	同
同	郷原忠夫	同
同	山形清春	同
同	鹽地德次郎	同
同	川藤孫助	同
同	長谷川章夫	同
同	福田光治	同
同	江川幸太郎	同
同	石藤常三郎	同
同	大原一男	同
海軍四等水兵	川口善水	同
同	岩野文雄	同
同	伊野政喜	同
同	菅原喜三郎	同
同	竹原永雄	同
同	永田伴次	同
海軍一等木工	福本讃輔	同
海軍一等機關兵	井上專二郎	同
海軍二等機關兵	藤田友市	同
海軍三等機關兵	平野龜之助	同
同	塚正繁造	同
海軍一等看護	藤井高助	
海軍一等主厨	寺尾資吉	同
海軍三等兵曹	上東榮次郎	四年二月十五日
海軍二等機關兵曹	繁澤忠	同三月一日
海軍三等兵曹	三谷武一	同
海軍一等水兵	工藤茂吉	同
同	西山藤吉	同
海軍二等兵曹	前川又七	同三月二十九日
海軍一等水兵	牛谷茂市	同
同	勝谷篤一	同
同	有本德市	同
同	高木丑松	同
同	川島吉馬	同
同	西村文太郎	同

官等	氏名	日付
海軍一等水兵	平山謙二	四年三月二十九日
同	蛭子德太郎	同
同	西本長之進	同
海軍一等機關兵	西岡孫三郎	同
同	山崎安吉	同
同	和田楠松	同
同	柚野三之助	同
同	上岡初太郎	同
同	土居重良	同
同	海地友治	同
海軍一等主厨	淸水正典	同
海軍一等機關兵	河村謙甫	同
同二等機關兵曹	大石要馬	同
海軍二等筆記	出口敬一	同
海軍一等機關兵	大名門直一	同
海軍二等機關兵	南川留吉	同
同	玉田甚太郎	同
海軍三等機關兵	木村繁	同
海軍三等水兵	山崎庄三郎	同
海軍一等機關兵	島村雅輝	同
給仕	大江正三	同
海軍一等機關兵曹	中野七太	同
海軍二等兵曹	宮田米治	同三月三十一日
海軍三等機關兵曹	矢野幸忠	同
同	若林孝	同
海軍一等水兵	池浦彌三郎	同
同	京極悌郎	同
同	池田昇吉	同
同	岡村金作	同
同	寺內春治	同
海軍一等機關兵	田盛作右衞門	同
同	市川松市	同
海軍三等機關兵	田中國松	同六月四日
海軍一等兵曹	土佐義隆	同七月二十七日
同	川崎役太郎	同
海軍一等機關兵曹	京谷米吉	同
海軍一等水兵	吉川角一	同
同	中富小三郎	同
同	光宗九十一	同
海軍一等機關兵	池上珍平	同
同	植野修一	同
同	松谷役太郎	同
同	竹內覺三郎	同

官等	氏名	年月日
海軍一等機關兵	村中廣槌	五年七月二十七日
海軍三等機關兵	梶山石松	同
海軍一等兵曹	瀨尾順治郎	同
同	山崎龍一	同
同	橋爪尙三	同
同	足立長敍	同
同	後藤田治	同
同	大杉一	同
海軍二等兵曹	岸本清	同
同	大西平次	同
同	中村榮太郎	同
同	藤井將亮	同
同	合田彌	同
同	小林久米一	同
同	德田眞次	同
同	三島三之助	同
同	景山良太	同
同	向野瀨清五郎	同
海軍三等兵曹	北岡三二	同
同	高山伊一郎	同
海軍一等水兵	福西三次郎	同
同	柳健夫	同
同	原田幸十郎	同
同	友田太三郎	同
同	上垣次太郎	同
同	松田杢治	同
同	出穗秋中	同
同	原省三	同
同	磯野礒一	同
同	深本喜一	同
同	服部嘉忠	同
同	小川藤右衛門	同
同	田淵萬太郎	同
同	福田豐市	同
同	正木初太郎	同
同	中矢彌六	同
同	沖本鯛一	同
同	山中千代吉	同
同	酒井武治郎	同
同	谷家右三郎	同
海軍二等水兵	溝口章	同
同	松本九市	同
同	猪野儀助	同
同	田村富三郎	同
同	赤壁寅吉	同
同	伊豫德太郎	同
海軍二等水兵	中田卯三郎	五年七月二十七日
同	末光卷雄	同
同	山岡片一郎	同
同	倉本喜八	同
同	奥野源吉	同
同	山田助三郎	同
同	平尾清市	同
同	林定吉	同
同	桑原榮四郎	同
同	岡本萬一	同
同	原田長雄	同
同	德野八九郎	同
同	高尾正路	同
同	兒島乙吉	同
同	金丸豐吉	同
同	大村文太郎	同
海軍三等水兵	船曳鷲雄	同
同	菅原拾次	同
海軍四等水兵	宮本龜太郎	同
同	河村清	同
同	高橋暉男	同
同	光內照寛	同
同	豐島清治	同
同	長戸義輝	同
海軍二等廚宰	大石德兵衛	同
海軍三等機關兵	丹羽秀松	同
海軍一等水兵	松原春衛	同
海軍二等水兵	宮岡國太郎	同
海軍二等機關兵	竹原定吾	同
海軍三等機關兵	藤井榮	同
給仕	齋藤金太郎	同
海軍二等兵曹	大澤清水	同七月二十六日
海軍一等水兵	永原時太郎	同
同	近藤美行	同
同	定久善治郎	同
同	尾崎鐵一	同
同	田中彌七	同
同	大田角太郎	同
海軍二等水兵	福田啓助	同
同	小西政一	同
同	和久才一	同
同	森口次郎助	同
同	西岡孫一	同
同	琢磨厚悟	同
海軍三等廚宰	大野久登	同九月十二日
海軍一等水兵	吉次與一	同

軍艦浅間

淺間總員

吉岡淺間艦長

南郷淺間副長

獨領「クサイ」島占領
同島酋長と其の官舎

獨砲艦「ガイエル」を監視したる金剛峯下

陸戰隊の「トラツク」島上陸

「ホノルル」に於て武装を解除せる
獨砲艦「ガイエル」

「ホノルル」港内.中央なるは獨砲艦「ガイエル」

墨西哥「サンバルトロメ」灣口右側（東側）
左より「エントランス.ロツク」「サルファー.ロツク」「コフイン・ロツク」

長濤不斷に碎くる「サンパルトロメ」灣口・左側(西側)「ケルプポイント」

遙かに坐礁せる淺間を望む・向つて左より淺間・關東・千歲

工作船關東の來着（大正四年三月二十四日）
向つて右より淺間・英給炭船「エイドル」・彼南丸・常磐・出雲・鎌倉丸

「サンパルトロメ」灣附近の群島一に「ペリカン」ニに鵜と鷗（其一）

（其二）

（其三）

淺間より入港目標「ペーピーク」を望む

「サンパルトロメ」灣內の仙境

淺間坐礁の狀況

「サンバルトロメ」灣に於ける千歲

常磐母國に向ふ 向つて右は工作船關東

後部八吋砲卸し方(其一)

（其　三）

（其　四）

後部八吋砲卸方
（其　二）

六吋砲卸し方（其一）

（其二）

荒寥たる山に半日の散歩（其一）

（其二）

（其　三）

（其　二）
向つて右より關東淺間

日曜日の半日（其一）
兎　狩

鮑採り

鮑群

通稱を黒貝と云ひ磨けば眞珠の光を放つ

巨大の「シヤボテン」(其二)

（其二）

（其三）

「サンバルトロメ」灣內に於ける邦人の鮑漁業（其一）

「サンバルトロメ」に於ける陸上運動會（其一）

親子探し（其二）

(其三)綱引
戰正に酣なり

(其四)
士官の貝殼釣競爭

艦長公室に於ける吉岡淺間艦長（其一）

南洋土産（其二）

午前八時

後部天幕張り方

止業後の總員體操

遙かに見ゆるは工作船關東

（其一）

（其二）

英海軍給炭船「レナ」號・右に見ゆるは坐礁せる淺間
八ヶ月の辛苦慘憺、同胞も及ばぬ意氣を示せし

軍人精神の鍛錬

「ナレ」號の出港萬浬の波濤を蹴て故國に向はんとす

英巡洋艦「ケント」の來訪

日曜日の午後

（其二）

（其三）

（其一）艦內大相撲

（其四）
士官の「デッキビリヤード」

被服洗濯（其一）

洗濯物揚げ方
（其二）

（其三）
洗濯物卸方

「ホノルル」灣頭徹宵哨艇に當りたる勇士

石風釣り・重量三十七貫目（其一）

千歳の出動

（其三）

石凪釣り（其二）

（其二）
鰕

（其三）
正覺坊

大漁（其一）
鰹

巨鯨於「サンバルトロメ灣」（其一）

正覺坊（其四）

巨鯨の口（其二）

海豚群をなす

内地より糧食需品を齎せる靜洋丸

南米方面に協同索敵せる英艦巡洋艦「ニウカツスル」の來訪

工作船關東より淺間に汽罐を轉載す

(其一)

（二　　其）

（四　　其）

（三　　其）

淺間艦底損所の一部
（第十五號鑵前艦底の隆起部）

艦內大排水（五月八日午後一時）（其一）

艦內大排水（其二）

（其三）

淺間離礁の瞬時
（五月八日午後四時四十五分）

淺間無事離礁後關東曳船して新錨地に向ふ

淺間新錨地にて大排水繼續

離礁後の應急作業
潛水夫の奮勵（其一）

離礁後の應急作業

潜水夫の奮勵 (其二)

(其 三)

(其 四)

艦底に「ガーダー」入れ方

淺間艦底損傷模型

（其二）

石炭積込み（其一）

假修理を終り單錨泊に移らんとす（其一）

（其二）

復舊せる淺間

苦心慘憺七ヶ月今ヤ工終り試運轉の途に就かんとする我淺間(八月二十一日午前)

訣別（其一）

南洋に南米に將た「バルトロメ」に幾多の喜憂を共にせる同僚漂渺萬里の故國に旅立たんとす

（其二）

給炭船彼南丸横須賀に向け出港

「エスカイマルト」に於ける工作船關東

千五百餘浬を無事踏破して將に「エスカイマルト」に入らんとする淺間・續くは千歳・關東・遠く聳ゆるは北米の山

追加假修理の爲無事「エスカイマルト」軍港着（九月四日午前）
軍港官衙を望む

一年振りに上陸せる「ヴイクトリア」市

「エスカイマルト」工廠長
「ストーリー」海軍少將の來訪

「ヴイクトリア」市「ガバメント」街

英領哥倫比亞州政廳

「エンプレス・ホテル」

緑雫る「ゴージーパーク」

「ゴージーパーク」(其一)

日曜の午後
(其二)

邦人經營の喫茶店（其三）

「ビーコンスヒル・パーク」（其一）

（其　二）
日曜の午後少年少女の嬉戯

（其　三）

「ビクトリヤ」郊外（其一）

（其三）

（其二）

「エ」港海軍練兵場に於ける陸上教練、左に立てるは加奈陀海軍士官と水兵（其一）

（其二）

「オークベー」に短艇遠漕（其一）

（其二）

（其三）

「エ」港日英聯合陸上大運動會
(其一)
彼我の競爭始まらんとす

(其二)
全勝せる「サックレース」

（其三）

拍手喝采を博したる綱引

（其四）

墓参（其一）

明治二十五年軍艦金剛にて練習航海の途不帰の身となりたる海軍少尉候補生草野春馬君の墓所は「エ」港苔蒸す海軍墓地，嗚呼前途有望の身にして異郷に葬らる哀悼の情誠に切なり

墓参（其二）
墓参の帰途

「エスカイマルト」に於ける淺間艦底の追加工事（其一）

（其　二）

内地より糧食類の到着

載炭

黄海々戰を偲ぶ勇壯の聲
「エ」港の山河爲めに震はんとす

追加工事を終り正に「エスカイマルト」港を發して
母國に向はんとする淺間（大正四年十二月三十日）

淺間「ジャンダフカ」海峡に入る
續くは關東遙かに「エ」港口燈臺を望む

「エスカイマルト」出港に際し登舷禮式
「ヒップ」!「ヒップ」!「ヒップ」!!「フラー」!
萬歳!萬歳!萬歳!

工作船關東總員

關東工作部員

布哇の途上

一難去つて一難來る艦の動搖三十度に及び速力四節を出でず

荒天準備

天長節祝日の午後(其一)

（其　二）

布哇「マウイ」島沖の淺間

(其一)

布哇「マウイ」島沖の載炭

(其二)

給炭船

（其三）

（其四）

即位御大禮當日の遙拜式（其一）

皇禮砲（其二）

同上（其三）

太平洋の狂瀾怒濤布哇より横須賀への途上（其一）

（其　二）

大正四年十二月十八日無事横須賀に入港せんとす
海軍航空機の迎接（其一）

（其　二）

(其三)

(其四)

橫須賀に入港せんとする淺間・續く工作船關東

大正五年二月二十七日印刷納本

非賣品

編纂者　軍艦淺間編纂委員

印刷者　木澤孚
東京市本郷區切通坂町二十五番地

印刷所　畫報社
東京市本郷區切通坂町二十五番地
『海軍發行所』